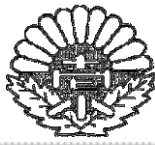


平成 29 年度



吉小だより

壺分小学校
〒630-0222
生駒市壺分町 356-1
TEL : 0743-76-8615

◇ 「平和学習」の取組 ◇

10月29～30日に、6年生が修学旅行で広島・宮島方面に行きました。平和公園では、慰霊碑や爆心地、資料館を見学し、供養塔の前で、「折り鶴」を合唱、千羽鶴をささげました。被爆体験講話では、岡田恵美子さんが、ご自身の壮絶な戦争体験を話してくださいました。話の最後に、「命を大切に、自分の考えを自分の言葉で伝えられる人になってください。」と言われたことが心に残りました。

6年生は、～平和を未来につなげるプロジェクト～として、学習の成果を土曜参観でおうちの方に伝えると共に、国語科では「未来がよりよくあるために」をテーマに、意見文を書く学習に取り組みました。

原爆投下から72年。これから先もずっと、戦争のない平和な国であるために、この国の将来を担う子どもたちの心の中に、この学びが生き続けてくれることを切に願います。



供養塔の前で慰霊祭

◇ 地域の「福祉」に学ぶ ◇

5年生の「つながり(総合的な学習の時間)」では、福祉の学習に取り組んでいます。今月16日に、地域活動支援センター「コスモールいこま」に通所されている方々から、精神障害についてのお話を聞きました。精神障害は、仕事や人との関わりのストレスから誰でもなる可能性があることや、周りの人に理解され、受け入れられることで自分らしく生きることができることなど、ご自身の体験や願いを話してください、最後に、ギターとオカリナに合わせて、みんなで「世界に一つだけの花」を合唱しました。

また、17日には、生駒市地域包括支援センターの職員の方から、認知症についてのお話を聞きました。どうして認知症になるのか、家族や近所に認知症のお年寄りがいたときに、どのように接すればよいのかなどを、劇を交えて分かりやすく説明していただきました。

そして、28日には、「かざぐるま」、「コスモールいこま」、「介護老人保健施設優楽」、「特別養護老人ホーム延寿」、「生駒市福祉センター」、「生活支援センターあけび」に、分かれて伺い、施設の見学や、職員・利用者の方との交流をさせていただきました。



認知症の家族を劇で

誰もが自分らしく幸せに生きる社会、互いに支え合う社会の実現に向けて、人との多くの出会いを持つことが、お互いの理解の第一歩となるはず。このような学習を通して、自分の身近な福祉に目を向け、まず、理解すること、そして、行動する力を育てていきたいと思っています。

◇ 「なかよしあきまつり」で楽しい交流 ◇

11月27日に、1年生が壺分幼稚園・いちぶちどり保育園の年長さんを招いて、「なかよしあきまつり」を行いました。10月24日に、3校園が毘沙門公園に集まって、一緒に拾った木の実や落ち葉を使って、各教室では、「どんぐり駒対決」や「リースの輪投げ」、「モグラたたきゲーム」、「アクセサリー屋さん」など、たくさんのコーナーを準備しました。

1年生は、手をつないで園児さんを案内する役とコーナーで受付や遊び方の説明を担当する役に分かれて、大活躍！園児さんが楽しく遊べるように、気を配って優しく声をかけたり、分かりやすく教えたりして、頼もしいお兄さん、お姉さんの姿を見せてくれました。



大にぎわいのあきまつり

これまで、5回の交流を通して、幼児期から児童期に何をどのようにつなげていけばいいのか、活動や話し合いを重ねながら、子ども同士、職員同士の相互理解が深まってきました。これからも、保育園・幼稚園での学びが、小学校の学習活動に円滑に接続されるよう、取組を進めていきたいと考えています。